

令和7年度第2回印西市立印旛歴史民俗資料館運営委員会会議録

1. 開催日時 令和8年3月11日（水） 午後2時00分開会
2. 開催場所 印西市立印旛歴史民俗資料館 学習室
3. 出席者 松原一弘委員、内藤幸一委員、矢嶋毅之委員、山田俊輔委員、早川博史委員
4. 欠席者 なし
5. 事務局 飯島文化振興課長、能勢館長、朝長
6. 傍聴者 なし
7. 次第 (1) 令和7年度歴史民俗資料館事業報告について
(2) 令和8年度歴史民俗資料館事業計画（案）について
8. 要点筆記

進行

只今より、令和7年度第2回印旛歴史民俗資料館運営委員会を開会させていただきます。はじめに、本日の会議に当たりましては、記録のため、録音をさせていただきますことをご了承お願いいたします。

次に、配布資料の確認をさせていただきます。（配布資料名を読み上げ確認）

続きまして、会長からご挨拶をおねがいたします。

※会長 あいさつ

今年開館40周年を迎えるということで、さまざまな行事が予定されています。すでに先行して、歴史探訪という名のもと一般の方を募って、2回行いました。松虫寺と資料館周辺の岩戸を学芸員とともに歩き、両回15名程度の参加がありました。また資料館の友の会も16名程度の応募があったと聞いております。40周年をきっかけにはないですが、パワーアップした資料館が今年は見られるのではないかと期待できると思っています。みなさまのお力添えをいただけたらと思いますので、よろしくお願ひします。

進行

ありがとうございました。

次に文化振興課長から挨拶をさせていただきます。

※課長 あいさつ

本日は、委員の皆さまお忙しい中、印旛歴史民俗資料館運営委員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。日頃から資料館の運営に際しましてさまざまなご助言だったりご協力をいただきましてありがとうございます。印西市は、千葉ニュータウン地区を中心に開発が進み、発展を遂げているわけではありますが開発に伴って、文化財の保護が重要になってくると思っております。例えば、埋蔵文化財、史跡、天然記念物、壊れてしまうという恐れがあるということでもあります。文化財とは地域によって守られて、今に残されているわけですが市内には6つの指定無形文化財があります。獅子舞、神楽の担い手不足ですけれども旧集落で少子高齢化問題があり文化財の継承が難しくなっております。文化財を守るということは地域を守ることであると思っております。重要であると考えるところであります。地域コミュニティの醸成も担当課としても目をむけていかなければいけないと思っております。この印旛歴史資料館ですが、印旛沼を含む印旛地域の文化財の保護を守ること、地域を活性化するというを目的としております。歴史だったり、文化財は人々のふるさと意識や安らぎにつながるものと考えております。この資料館が市民みなさまのステータスとなるような資料館を目指してまいりますので、委員の皆様にはご専門の立場から引き続きご指導いただけたらと思っております。よろしくお願

いたします。

本日の出席委員は5名中5名で、過半数に達しておりますので会議は成立となります。

進行 それでは、議事に入らせていただきますが、議長は設置運営規則の規定により、内藤会長に議長をお願いします。

また、本会議は、「印西市市民参加条例」第11条第4項及び「同施行規則」第11条の規定に基づき、公開となりますが、傍聴者はいませんのでこのまま進行をさせていただきます。

議長 はい。それでは配布されたお手元の資料に沿って議事を進行していきたいと思います。最初に会議録署名委員の指名ですが、松原委員にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

議長 それでは、議題1から進めていきたいと思います。事務局より説明をお願いします。

事務局 【資料に沿って説明】

まず委員のみなさまには、お礼を述べてから報告に入りたいと思います。多方面にわたり惜しみないご協力をしていただき、ありがとうございました。

では、令和7年度印西市立印旛歴史民俗資料館事業報告について説明いたします。

1 展示事業 常設展示をしておりますが、見え方などを工夫しました。また、令和6年度、令和7年度に寄贈いただいた資料について一部燻蒸後に展示しました。ミニ展示としまして「戦後80年印旛地域と戦争」を展示しました。2 普及事業 (2) 市内無形民俗文化財記録映像と印西の民話素話映像の視聴 来館者があった場合には、必ず目が留まる場所に移動し、画像を流すようにしました。ゆっくり見ていただけるようにソファもこちらに移動させました。(3) 資料の利用 資料館にある資料の利用を紹介させていただきます。

(エ) 西印旛農協さんへコメ作りの様子の写真や農具の写真を提供しました。こちらが、JAまつりで使用した写真になります。(キ) ぼら漁具が東京文化財研究所のホームページで「民具再発見ちょっと不思議な民具たち」で紹介されています。昨年度資料利用の申請があった「黒曜石」は、研究誌の方で紹介されています。委員の皆様が印旛歴史民俗資料館についてご説明していただく際の一助にさせていただけたらと思います。(4) 講座等の開催 ア体験講座 正月飾り作りに関しましては、講師の岩井さんが丹精込めて育て、材料のわらを用意してくださいます。印西市のわらでお正月の飾りが作れるということで、大変人気の講座です。申し込みをお断りした例もありました。イ資料館講座の印西牧の原の歴史余話は29名の参加がありました。長年にわたり市職員として地域の歴史を研究している小池さんの講座は大変人気があります。ウ歴史探訪 令和6年度の運営委員会でウォーキングを取り入れた講座をできないかという提案をもとに保存されていた資料を活用しながら企画し始めた歴史探訪です。内藤会長は、北総線小さな旅を執筆するにあたり、市内をくまなく歩かれていますので、コースのアドバイスをいただき、一緒に下見に行ってください、こちらの講座が実現しました。また早川委員には、泉福寺の薬師堂を特別に御開帳していただきました。地域の方々のご協力があつて重厚な講座となりました。参加者からも大変好評でした。(5) 刊行物 研究紀要8号を刊行します。創刊号より大阪大谷大学の犬木教授の研究成果を掲載しております。積み重ねることにより大変大きな資料となります。委員には、4月以降に発送する予定です。(6) 事業協力 ア出前講座の依頼はありませんでした。資料館で待っているだけでなく、出向いていく資料の紹介も行っていきたいと考えております。オ小中学校 児童・生徒の調べ学習や教員への協力 教師目線が知りたく、松原委員には、平賀小学校の社会科見学、ワークシート作成等アドバイス

いただき勉強いたしました。教育センターの先生方からもアドバイスをたくさんいただいております。カ3月8日印西市遺族会への協力ということでの平和記念講演で館長が「戦争と当時の印西の様子」という題目で講演いたしました。今後もこういった講演の依頼が増えると資料館のPRにもなりますので大切にしていきたいと思っております。

4 整理・保管事業 (1) 岡田家の文書の整理を進めています。(3) 11月に資料の燻蒸を行いました。5 調査研究事業石造物調査を再開することができました。協力者の経緯については、お配りしましたまちナビ印西に内藤会長が書いてくれていますので、こちらをお読みください。

(2) 市内出土埴輪資料の調査 大阪大谷大学の犬木教授の調査が中心になります。矢嶋委員の成田山霊光館には、印旛歴史民俗資料館が出来る前は、大切に資料を保管して下さる場所として多くの印西市内の資料が保管されていますので、調査の際には、矢嶋委員にご協力いただきました。ありがとうございました。(4) 随時調査 館報作成時に使用した古写真中心となっております。吉田地区の捷範橋の写真は研究紀要8号で紹介しています。6 運営 来館者数 令和8年3月1日現在で810人の方が来ていただきました。昨年1年間の来館者数が808人ですので、あと1か月を残して超えることができました。委員のご協力のおかげだと感謝しております。まだ1ヶ月ありますので、少しでも多くの方に来館していただけるよう引き続きがんばっていきます。

3 印西市立印旛歴史民俗資料館運営委員会の開催は6月26日と3月11日の2回開催いたしました。館報は、資料館の広報として位置づけました。4 広報 館報を復刊させ、14号、15号、16号と3回発行いたしました。紙での配布は、印旛歴史民俗資料館、印旛支所、印旛公民館、平賀出張所、そうふけ公民館、コスモスパレット、印旛日本医大駅、千葉ニュータウン中央駅、印西牧の原駅、イオン内にあります印西市観光情報館で配布しました。市ホームページでも公開しております。ミニ冊子昭和百年 100部、こちらは、芸術祭の地元説明会時にも配布する機会をいただきました。ウォーキングの身近な旅につながった冊子歴史探訪は、市民からの要望で市内図書館6館に登録させて欲しいと図書館からお話がありました。図書でも読むことができます。しおりは市内小学校、来館者へ配布しています。名刺がわりに、落とし物になっても市と資料館のPRになると思い活用しています。山田委員にご協力いただき、千葉大学大学院留学生をご紹介いただき、ワークシートの作成を行いました。日本語を母国語に持たない方の目線も大切にしたいと思いお願いしました。こちらは、教師目線も知りたく、松原委員、ふるさと運営委員会の先生をはじめ現役の先生にもアドバイスをもらいながら進めていきました。令和8年度より開館40年記念として活用を予定しています。また、ふるさと印西学の改訂にあわせた令和9年度よりふるさと印西学の別冊としての活用も決まっております。みなさんのおかげだと資料館としても喜んでおります。

(5) 資料館ボランティア 「友の会」の活動を開始しました。内藤会長のご協力をいただいて始めることができました。ありがとうございます。会員数は現在16名です。

(6) リラックスコーナーの設置 令和8年1月10日より設置しています。バスの待ち時間対策としてはじめました。ボランティアに参加してくださっている方のご厚意で飲み物も提供しています。

議長 事務局から説明がございましたが、この内容に関しまして、ご意見ご質疑、アドバイスなどがございましたら、お願いします。

委員 「友の会」で具体的にやりたいことは決まっていますか。

事務局 簡単な決まりごとは決まっていますが、特に決まっていません。資料館のファンクラブを目指しています。ファンクラブとは資料館が好き、資料館の役に立ちたいという気持ちだと

考えています。人それぞれ得意な分野は違うと思うので、そういったことをかせる場にした
たいです。地元の大工さんも参加してくださっています。

委員 他の館のボランティアの事例は調べたのですか。

事務局 調べましたが、当てはまるものはありませんでした。それで、こういった方法で始めてみ
ました。

議長 それでは、その他ご意見もないようですので、議題の（１）令和7年度歴史民俗資料館事
業報告については、ご了承いただくことでよろしいでしょうか。

【意義なし】

ありがとうございます。令和7年度歴史民俗資料館事業については承認されました。

続きまして、議題の（２）「令和8年度歴史民俗資料館事業計画（案）について」を議題
とします。事務局より説明をお願いします。

事務局 【資料に沿って説明】

令和7年度同様、委員にご協力いただきながら、開館40周年の令和8年度事業を行って
いけたらと思います。講座等に関しましては、事務局と講師の方と日程、内容等協議が済
んでおります。日程にまだ少し余白を残してありますので、こんなことをしたらというよ
うな意見をいただけたらと思います。よろしく申し上げます。1 展示事業 常設展示の
ほか、ミニ展示を折々に行います。記念展示は、開館40周年を記念テーマに「印旛へ里
がえり」した資料の展示を考えております。2 普及事業 （４）講座等の開催 ア体験講
座資料館を満喫しよう！ということで、企画しております。遊びを通して、古いことに興
味を持ってもらう狙いがあります。印旛地区の青少年相談員の方が焼きそば等を提供して
くださる予定です。また友の会のボランティアの方からもお米や野菜を提供したいとの申
し出を受けております。参加費は夏の暑い時期ですので、飲み物代中心になります。飲み
放題を考えております。例年人気の正月飾り作りも開催いたします。40周年記念としま
して、資料館に飾るしめ縄を作ってください、入り口に飾っております。イ資料館講座4
回行います。先程から40周年ばかりいっていますが、こちらは、40年の間に資料館に
関わってくださった方々と身近に市民と歴史資料が近くなる場となるよう企画しました。
場所も資料館の学習室としております。人数は、会場設営で最大限の人数を予定しており
ます。いずれも無料になります。「ふるさと印西」が共通のテーマとなります。ウ歴史探
訪を2回開催します。7月7日の来福寺の薬師様に会いに行こう。は、千葉県指定文化財
の木像の仏像を資料館で保管させていただいています。こちらが平賀の来福寺に年に1度
願いごとを叶えに帰ります。護摩焚きも観覧します。12月9日は、瀬戸地区の方のお寺
を巡ります。（４）刊行物 研究紀要9号を刊行予定です。3資料収集事業（１）（２）の
ほか、（３）地域の写真を集めていきたいと思えます。4整理・保管事業一番効果がある
といわれている8月の実施を予定しています。5調査研究事業（１）石造物調査を月2
回のペースで行います。6運営（２）会議 6月と3月に予定しています。（３）広報
館報を年4回発行 4月は40周年記念号、11月は記念展示の展示解説が中心となりま
す。2月は芸術祭にゆかりのあることを取り扱っていく予定です。歴史探訪、昭和百年、
しおりの配布を続けます。ワークシートの活用を行っていきます。まず資料館と印旛日本
医大駅に置くことを考えています。ホームページの検索機能、SNSの効果的な活用を研究
して、さらなる来館者の増加を目指したいと考えております。印旛は印旛村の印旛でなく
印旛沼の印旛であることもお知らせしていきたいと思えます。（５）資料館ボランティア
「友の会」のミーティングの要望があがっていますので、開催を予定しています。（７）

これからの資料館へ向かうための方向性ですが、「ふるさと印西学」の巻頭言を軸に「ずっとこのまち印西で」住み続ける、思い続ける、「市民のステータス」となる資料館を目指したいと考えております。文化は、豊かさの象徴とされています。豊かさとは、心だけでなく財力の豊かさの象徴でもあります。(8) 今後の資料の取り扱い 市民に公開、発信していくための資料保管を行います。文化財係で保管している資料の中から魅力ある資料を資料館で展示していきたいと思っております。魅力とは、文化財は茶色が中心なのですが、色があるものや表情が感じられるものと考えます。入口の魅力です。民俗資料については、現在の方法はいったん停止し、今後は写真収集で行っていきます。民俗資料の収集は一時代は完了していると考えます。これからの時代の収集を考えると電化製品が中心になると考えます。そういった資料を集めるには、新しい形の収蔵庫が必要となります。また製造元の企業でも記録が残っていますので、市で保存しておく必要はないかとも思います。目で見える写真を取り、そのもの自体を言葉で記すことにより資料となります。古写真もお借りしたものは、データとして残し、紙の写真は所有者に返却するという方法を考えております。木下交流の杜歴史資料センターで民俗の市史刊行に向けて活動が始まっておりますので、連携しておこなえるのではないかと思います。そういったことをふまえ、印旛歴史民俗資料館資料収集方針を策定します。歴史を正確に記録し、研究し、言葉にし、伝えていきたいと思っております。また、こちらには記入してありませんが、令和8年度より千葉県博物館協会に再加入いたします。こちらでも情報をいただき連携していきたいと思っております。ご意見の方、よろしくお願いいたします。

議長 只今、事務局から説明がございましたが、この内容に関しまして、ご意見ご質疑、アドバンスなどがございましたら、お願いします。

委員 課長が冒頭挨拶にあったように無形文化財は昨今どこの自治体でも消滅の危機にさらされていますが、映像で記録は残しているのでしょうか。印西全体として何か行っていますか。

事務局 資料館に映像記録は残っています。一部放映しています。指定になっていない無形文化財については木下交流の杜歴史資料センターの職員が映像記録を取りに行っています。資料館独自の取り組みはしていません。

委員 文化財も世代交代の時期になっていてどこの自治体でも同じ問題を抱えていますね。文化財地域保存計画は作っているのですか。博物館に資料を集めるだけでなくお祭りや文化財を利用してのコミュニティを地域みんなでみることにより、コミュニティが醸成していくことが大切になっていくのではないかと思います。現在は点と点の移動になっている。点と点でなく点が面になって広がっていくと良いと思います。多世代が文化財を起点に交流していくそんな地域ができれば良いなと思います。資料館ボランティアの友の会で具体的に提案していく方法も良いのではないかと思います。やりたいことが形になっていくのは、市民のやりがいにつながっていくと思います。文化財を起点に考えて行って欲しい。無形文化財についての記録につながっていくと良いなと思います。

事務局 計画については、作っておりません。文化財を活用した政策を考えていきたいです。委員のご意見は今後の参考にさせていただきたい。

委員 友の会ボランティアは、どういった方が登録されているのですか。

事務局 地元の方と印旛村の元職員が多いです。友の会に登録してくださった方から、ミーティングをやりたいというお話をいただいて開催したいと思いました。地域のコミュニティにつながっていくと良いと思っています。

委員 委員の方のお話のコミュニティがまさにヒントになると思いました。大事にしていてい

ただきたい。よろしくをお願いします。

委員 委員が長く携わっている印西大師の方はどうでしょうか。

委員 私自身もどうなっちゃうのだろうと感じております。印西大師の特徴は、地域のコミュニティで、僧侶が一番前に歩いています、一番関わっていないのですね。誰かが何かをしたからといって、どうなるものでもないかと思えます。ただ熱を持った方がいると何かがかわるのではないかと思っています。見守っています。

事務局 委員にご意見をいただけたらと思うのですが、印西大師の形を変えて残してイベント化して行く。例えばトレイルランとかなのですが、本来の目的を変えてまで続けていくことはどうなのかなと思っているのですが・・・。

委員 散歩がてらサイクリングがてらで全部行くことに意義があるというスタンプラリー的な感じで行っている方はいました。大師様にスタンプを作って置いたらどうかと考えた時がありました。

委員 四国八十八か所を回る方が全員信仰心を持って回るかということそんなことはないと思います。半分物見遊山、半分本気でも良いかなという気持ちはあります。以前、昔からのやり方ではなくなっちゃう、歩くのが大変だという話がでたときにバスをチャーターして行くという経験をしましたが、昔からのやり方が身に染みていてだめだったのです。結論にはならないが、大変むずかしい問題だと思っています。記録資料を残してくださっているのは大変ありがたいです。まずはそこが大事なのではないのでしょうか。そんなふうに感じています。印西大師は4月でしたね。勤務している学校の前に白衣をきた方が通り、まだ行われているんだと思いました。子どもたちの目に触れることで、話がつながっていくのではないかと思うところがあります。

委員 企画展なんかも入口としては良いのではないのでしょうか。スタンプラリーの話が出ましたが、方法として印西大師にQRコードを貼らせていただくというのはどうでしょうか。そういったのも面白いのではないかと思います。私の方でも取り入れているところなど調べてみたいと思います。

委員 今、QRコードを文化財に取りいれているところは多いですね。検討していただけると良いかと思えます。

事務局 ありがとうございます。

委員 話は変わりますが、以前からお話させていただいた出前授業も検討して下さるとのことですが、また遺族会の講演に行っているようですが、団体のコーディネイト役をやっているだけないか。先生が直接交渉していくのではなく、こちらに電話するとコーディネイトして下さるような仕組みがあるとありがたいかなと思います。

事務局 行政とは提供したい人と求めている人をつなぐ役目があると思っています。貴重なご意見ありがとうございます。

委員 今現在、印西市内で資料の受け入れを行っている場所はこちらだけですか。

事務局 ここだけでなく古文書などは、木下交流の杜歴史資料センターです。民俗資料という意味でこちらになります。

委員 現在の方法を完了し、昨今の状況からなかなか良い言葉だなと思います。二行下に資料収集方針を策定するとなっていますが、廃棄はしないけれども現在の方法は完了するという方法は良いと思います。資料は、廃棄しないのですか。参考にさせていただきます。

事務局 廃棄はしないで活用を中心にしていきます。

議長 それでは、その他ご意見もないようですので、議題の(2)「令和8年度歴史民俗資料館

事業計画（案）」については、承認されました。

以上を持ちまして、本日の議事は全て終了いたします。皆様のご協力に感謝申し上げ、議長
の任を解かせていただきます。

事務局 【その他事務局より】

- ・令和8年度行政組織について説明

文化振興課が教育部から新設の生涯学習部の所管になる。

- ・次期の委嘱について

6月開催の資料館運営委員会で委嘱状の交付を行う。

- ・その他 令和9年3月から5月で行われる芸術祭の会場が資料館近くの旧宗像小学校
と印旛沼と決まっている。これを機に印旛を盛り上げていきたいという波に
印旛歴史民俗資料館も乗っていきたい。

委員 芸術祭に人の流れが資料館に来るような企画を資料館でも考えていきたいですね。

事務局 はい。よろしくをお願いします。

進行 以上を持ちまして、令和7年度第2回印西市立印旛歴史民俗資料館運営委員会を閉会とさせて
いただきます。委員の皆様には慎重審議、意見、アドバイスを賜り、大変ありがとうございました。
皆様には引き続きよろしくお願ひいたします。これで散会とさせていただきます。

令和7年度第2回印西市立印旛歴史民俗資料館運営委員会会議録は
事実と相違ないことを承認する。

令和8年3月17日

印西市立印旛歴史民俗資料館運営委員会
委員 松原 一弘

令和7年度第2回印旛歴史民俗資料館運営委員会

次 第

日時 令和8年3月11日（水）
午後2時開会

場所 印旛歴史民俗資料館学習室

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 文化振興課長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名について
- 5 議 事
 - (1) 令和7年度歴史民俗資料館事業報告について
 - (2) 令和8年度歴史民俗資料館事業計画（案）について
- 6 その他
 - (1) 令和8年度行政組織について
 - (2) 次期の委嘱について
 - (3) その他
- 7 閉 会

令和7年度歴史民俗資料館事業報告

1 展示事業

常設展示

旧印旛地域の生活などの暮らしに関する民具などを中心に、考古資料、歴史資料を展示している。

ミニ展示

テーマ「戦後80年 印旛地域と戦争」を展示した。

2 普及事業

(1) 学習室の開放（図書閲覧）

(2) 市内無形民俗文化財記録映像と印西の民話すばなし映像の視聴

(3) 資料の利用

(ア) コピー

4月17日 個人 六合中学校校歌譜面部分

(イ) 閲覧・撮影・実測

5月13日 個人 平賀惣行遺跡、古山遺跡出土石器

(ウ) 閲覧・撮影

5月22日 個人 山田、狩野健一家文書58点

(エ) 展示・撮影

6月14日 西印旛農業協同組合 JAまつり
米作りの様子写真14枚、農具写真1枚

(オ) 閲覧・撮影

7月17日 個人 吉高浅間古墳出土土製勾玉1点、磨石兼敲石1点
萩原長原遺跡出土土製勾玉2点

(カ) 閲覧・撮影

7月17日 個人 吉高浅間古墳出土土製勾玉1点、磨石兼敲石1点
萩原長原遺跡出土土製勾玉2点

(キ) 撮影・掲載

7月31日から 個人 ボラ漁具
東京文化財研究所無形文化遺産ホームページ「民具再発見
Discover MINGU!」「ちょっと不思議な民具たち」

(ク) 閲覧・撮影

8月5日 個人 油作第1遺跡出土石器 38点
トケ前遺跡B地点遺跡出土石器時代資料 54点
井戸向遺跡出土石器 51点

(ケ) 借用・展示・撮影・掲載

9月4日から10月28日 公益財団法人千葉県教育振興財団
大木台2号墳出土埴輪2点

※令和7年度出土遺物公開事業

場所：千葉県房総のむら風土記の丘資料館、千葉県立中央博物館

(コ) 掲載・画像データ

12月27日から 四街道市 印旛郡『大正12年9月大震災当時郡活動
絵はがき』「四街道罹災者救護所」1点

(サ) 借用・展示

1月15日から2月26日 公益財団法人千葉県教育財団
大木台2号墳出土埴輪2点

※令和7年度出土遺物公開事業

場所：千葉県立中央博物館

(シ) 庁内貸出 7件

(4) 講座等の開催

(ア) 体験講座

・火起こし体験

実施日：7月29日（日） 午前10時～11時

場 所：資料館前

講 師：弘海達也氏（千葉県教育庁文化財課職員）

※土器と古代“宅配便”事業を利用

対 象：小学校高学年以上

参加者：12名

参加費：無料

・埴輪（はにわ）をつくろう

実施日：8月24日（日） 午前10時～11時30分

場 所：学習室

講 師：当館職員

対 象：小学生以上

参加者：15名

参加費：材料費382円

・勾玉づくり

実施日：10月26日（日） 午前10時～11時30分

場 所：学習室

講 師：当館職員

対 象：小学生以上

参加者：15名

参加費：無料

・正月飾りづくり

実施日：12月20日（土） 午前10時～12時

午後1時30分～3時30分

場 所：旧宗像小学校体育館

講 師：岩井猛和氏、協力者（印西愛郷クラブ7名）

対 象：小学生以上

参加者：計30名（午前15名／午後15名）

参加費：材料費700円

（イ）資料館講座（3回） 場所：学習室

・第1回

演 題：印旛沼の成り立ち

講 師：日浦博昭氏（公益財団法人 印旛沼環境基金）

実施日：7月27日（日）午後1時30分～3時30分

参加者：12名

・第2回

演 題：“印西牧の原”の歴史余話

講 師：小池康久氏（元市職員、千葉県郷土史研究連絡協議会）

実施日：9月28日（日）午後1時30分～3時30分

参加者：29名

・第3回

演 題：房総半島における弥生時代

講 師：小林崇氏（千葉市埋蔵文化財調査センター）

実施日：11月16日（日）午後1時30分～3時30分

参加者：12名

（ウ）歴史探訪

・身近な旅編1 松虫姫伝説を巡る

協 力：松虫寺、印旛日本医大駅

実施日：12月3日（水）

参加者：13名

・身近な旅編2 資料館周辺を巡ろう

協 力：泉福寺、西福寺

実施日：2月28日（土）

参加者：14名

（5）刊行物

（ア）刊行物

- ・研究紀要第8号 46頁 400部（令和8年3月31日発行）
 - 【研究ノート】龍角寺101号墳における埴輪胎土の化学特性
—印旛沼東岸域の比較事例として— 犬木努
 - 【資料紹介】千葉県印西市浦部出土円筒埴輪の基礎調査
千葉県印西市出土 大野三郎氏寄贈円筒埴輪の基礎調査
千葉県印西市吉田・八千代市保品間に架けられて捷範橋と
建設に関わった兵士の写真
 - 【年報】令和6年度印旛歴史民俗資料館事業概要

(イ) 頒布

無償頒布

研究紀要第7号 関係機関、関係者へ送付（225か所）

有償頒布

研究紀要第7号開始（6月1日より）100部 頒布価格300円

頒布場所 当館、木下交流の杜歴史資料センター、公民館（5館）

(6) 事業協力

(ア) 印西市生涯学習まちづくり出前講座 ※依頼なし

講座名「印西の歴史をひもとく」

（文化振興課・木下交流の歴史資料センター・印旛歴史民俗資料館共通）

「むかしのくらしを学ぼう～民俗資料にふれる」

（文化振興課・印旛歴史民俗資料館）

(イ) 広報いんざい 毎月1日発行号

「タイムスリップ・いんざい」執筆 ～9/1号まで

木下交流の杜歴史資料センターと交互に執筆

NO.32 火のし～グローバルなアイロン（5月1日号）

NO.34 つるべと井戸～大変だった水汲み～（7月1日号）

NO.36 万石とおし（9月1日号）

(ウ) 全国埋蔵文化財法人連絡協議会関東ブロック協議会連携事業

「関東考古学フェア」（6月14日～11月24日）

(エ) 我孫子市・柏市・印西市

3市周遊デジタルスタンプラリー（10月1日～1月31日）

(オ) 小・中学校

児童・生徒の調べ学習や教員へ協力（随時）

六合小学校見学（1月21日（水））

平賀小学校、いには野小学校、六合小学校、牧の原小学校、

ふるさと印西学運営委員会

(カ) 印西市遺族会 平和講演会「太平洋戦争の悲惨さを語り継ぐ」へ協力

講演「戦争当時の印西の様子」 館長 能勢幸枝（3月8日（日））

3 資料収集事業

- (1) 寄託・寄贈受付
- (2) 地域の考古、歴史、民俗等に関する各種資料の収集（図書資料含む）

4 整理・保管事業

(1) 収蔵資料台帳の整備

- ・瀬戸・岡田忠篤家、印旛村移管文書（資料）、六合小学校旧蔵資料、令和6年度受け入れ資料等
- ・文化財資料データベース化作業（令和7年度開始、文化振興課文化財係担当）

(ア) 瀬戸・岡田忠篤家文書

対象資料：①行李入りの古文書、近世～近代

②整理済 5, 829点

作業の概要：①資料の清掃、内容把握、目録、記述作業（平成31年度開始）

②内容把握、目録修正

実施日：原則第3、4土曜日（4月25日、26日、5月17日、31日、6月21日、28日、7月19日、26日、8月16日、23日、9月20日、10月18日、25日、11月15日、22日、30日、12月20日、1月17日、24日、2月21日、23日、予定3月21日、28日）

実施者：小池康久氏（元職員）ほか1名

(2) 収蔵庫の整理 随時

(3) 館内温湿度管理

(ア) 温湿度記録

測定場所5か所（収蔵室、特別収蔵室、展示室、学習準備室、会議室）

(イ) 資料燻蒸の実施

内容：未燻蒸資料の持ち込み燻蒸 67点

時期：11月5日（水）～12日（水）

5 調査研究事業

(1) 石造物調査 印旛地区 1, 363基（概数）

実施日：2月22日（日）、3月15日（日）

内容：吉田地区調査位置確認、記載内容記録、計測、撮影など

調査：当館職員、松田青空氏、横山達才氏

その他：令和5年度～開始

(2) 市内出土埴輪資料の調査

実施日：4月18日（金）～20日（日）、7月15日（火）、8月29日（金）～31日（日）、12月19日（金）～21日（日）、予定3月27日（金）

～29日(日)

内 容：収蔵資料のうち未報告資料の資料化、分析、報告済み資料
(吉高山王古墳)の再検討

協力者：犬木努氏(大阪大谷大学教授)、
矢嶋毅之氏(市資料館運営委員、成田山霊光館)

(3) 市内出土瓦塔資料の調査

実施日：随時

内 容：岩戸西方出土瓦塔実測図の修正等、大石誠良氏収集資料整理
調 査：当館職員

(4) 随時調査

実施日：4月16日(水)

内 容：吉田・古写真の調査(昭和20年竣工の捷範橋など)

実施日：5月1日(木)

内 容：萩原・古資料の調査(青年団の第1号会報誌、古写真など)

実施日：6月11日(水)、8月16日(土)

内 容：大森・個人宅マデ屋の調査(古時計、信仰関係の掛軸、農具など)

その他：文化財係と合同

実施日：6月12日(木)

内 容：大森・個人宅の調査(古写真、玩具、雑誌、教科書、文書、農具など)

実施日：12月26日(金)

内 容：師戸・古写真の調査(師戸金毘羅神社から撮影された印旛沼他)

6 運営

(1) 開館日数

285日

(2) 来館者数(令和8年3月1日現在)

810人

(3) 会議

印西市立印旛歴史民俗資料館運営委員会の開催(年2回)

第1回 6月26日(木)

第2回 3月11日(水)

(4) 広報

・館報 800部・無料配布

第14号 7月7日発行(復刊号)

第15号 11月11日発行

第16号 1月11日発行

印旛歴史民俗資料館、印旛支所、印旛公民館、平賀出張所、そうふけ公民館、

コスモスパレット、印旛日本医大駅、千葉ニュータウン中央駅、
印西牧の原駅、印西市観光情報館で配布。市ホームページに掲載。

- ・ミニ冊子 昭和100年 100部・無料配布
- ・冊子 歴史探訪 400部・無料配布

※市内図書館の申し出により、6館で図書登録。

- ・しおり 市内小学校、来館者へ配布
- ・ワークシート作成

協力：常楽氏（千葉大学大学院留学生）、

印西市教育センター（ふるさと印西学運営委員会）

監修：山田俊輔氏（市資料館運営委員、千葉大学大学院人文科学研究院教授）

※令和8年度より当資料館で活用開始予定

※令和9年度「ふるさと印西学」の別冊として活用予定

(5) 資料館ボランティア「友の会」活動宣言 令和7年12月1日

会員数：16名（令和8年3月1日現在）

(6) リラックスコーナーの設置 令和8年1月10日

バスの待ち時間対策等

令和8年度歴史民俗資料館事業計画（案）

1 展示事業

常設展示

旧印旛地域の生活などの暮らしに関する民具などを中心に、考古資料、歴史資料の展示を更新する。

ミニ展示

折々に行う。

記念展示

開館40周年を記念テーマ「印旛へ里帰り」した資料を展示する。

2 普及事業

(1) 学習室の開放（図書の見学）

(2) 市内無形民俗文化財記録映像の視聴・印旛の民話の視聴

(3) 資料の利用

随時

(4) 講座等の開催

(ア) 体験講座

- ・資料館を満喫しよう！ 昔の遊び・星空観賞等

実施日：8月22日（土）

場 所：旧宗像小学校校庭・体育館

講師：印旛歴史民俗資料館ボランティア友の会、印旛地区青少年相談員、
社会福祉協議会ボランティア

対 象：小学生以上（小学校低学年は保護者同伴）

募集人数：50名

参加費：材料費1,000円（予定）

- ・正月飾りづくり

実施日：12月19日（土）午前・午後（2回）

場 所：旧宗像小学校体育館

講 師：岩井猛和氏、協力者（印旛愛郷クラブ）

対 象：小学生以上

募集人数：計30名（15名／回）

参加費：材料費700円（予定）

(イ) 資料館講座（4回）開館40周年記念）

- ・共通

場 所：学習室

参加費：無料

- ・演 題：(仮題) 吉植庄亮と庄亮をめぐる人々

講 師：飯田洋氏 (吉植庄亮研究家)

実施日：8月23日 (日)

- ・(仮題) ふるさと印西の成り立ち 明治～昭和・平成

講 師：矢嶋毅之氏 (市資料館運営委員,成田山霊光館)

中村政弘氏 (元印西市史編さん専門委員)

実施日：9月27日 (日)

- ・(仮題) ふるさと印西の大字・小字 (江戸時代)

講 師：小池康久氏 (元市職員,千葉県郷土史研究連絡協議会)

実施日：10月11日 (日)

- ・(仮題) ふるさと印西の埴輪を語ると埴輪づくり体験

講 師：犬木努氏 (大阪大谷教授)

山田俊輔氏 (市資料館運営委員,千葉大学大学院人文科学研究院教授)

実施日：11月7日 (土)

(ウ) 歴史探訪

- ① 来福寺の薬師様に会いに行こう

実施日：7月7日 (火)

協 力：来福寺

募集人数：15名

参加費：無料

- ② 瀬戸願定院の馬頭観音と徳性院からの印旛沼

実施日：12月9日 (水)

協 力：願定院 徳性院

募集人数：15名

参加費：無料

(5) 刊行物

(ア) 刊行

- ・研究紀要第9号刊行予定

内容 吉高山王古墳出土埴輪再検討 (予定)

(イ) 頒布

- ・無償頒布

研究紀要第8号 関係機関、関係者へ送付 (224か所)

- ・有償頒布

研究紀要第8号開始 100部 頒布価格未定

頒布場所 当館、木下交流の杜歴史資料センター、公民館（5館）

3 資料収集事業（図書資料含む）

- (1) 寄託・寄贈受付
- (2) 地域の考古、歴史、民俗等に関する各種資料の収集
- (3) 地域の写真

4 整理・保管事業

- (1) 収蔵資料台帳の整備
印旛村移管文書（資料）、六合小学校旧蔵資料、瀬戸・岡田忠篤家文書、
令和7年度受け入れ資料等
- (2) 収蔵庫の整理
- (3) 館内温湿度管理
 - ・温湿度記録
 - ・資料燻蒸の実施
内容 未燻蒸資料の持ち込み燻蒸
時期 8月

5 調査研究事業

- (1) 石造物調査 計24日
過去の調査データ整理、現地調査の実施
調査対象 印旛地区 1,381基（概数）
内 容 位置確認、記載内容記録、計測、撮影など
協力者 松田青空氏 横山達才氏 伊藤弘一氏
その他 令和5年度開始
- (2) 市内出土埴輪資料の調査 計9日
内 容 収蔵資料のうち未報告資料の資料化、分析、報告済み資料の再検討
協力者 犬木努氏（大阪大谷大学教授）
- (3) 市内出土瓦塔資料の調査 適宜
内 容 岩戸西方出土瓦塔実測図の修正等、大石誠良氏収集資料整理
調査指導 池田敏宏氏（高野山大学大学院）
調 査 当館職員
- (4) 収蔵資料（歴史資料）の整理 計24日
内 容 収蔵資料のうち未整理の歴史資料（岡田忠篤家文書ほか）の整理

実施期間 令和6年度～令和9年度（予定）

協力者 小池康久氏（元市職員,千葉県郷土史研究連絡協議会）

6 運営

(1) 開館日数

285日

(2) 会議

印西市立印旛歴史民俗資料館運営委員会の開催（年2回）

第1回 令和8年6月頃

第2回 令和9年3月頃

(3) 広報

- ・発行 館報（4月、7月、11月、2月）
- ・配布 歴史探訪（冊子）、昭和100年（ミニ冊子）、しおり
- ・ワークシートの活用
- ・ホームページの検索機能、SNSの効果的な活用研究

(4) 施設

エアコン更新工事（4月契約、6月末工事完了目指す）

照明のLED化工事

(5) 資料館ボランティア「友の会」活動

ミーティング 年4回程度開催、事業への協力

(6) リラックスコーナーの活用

バス待ち時間対策等

(7) これからの資料館へ向かうための方向性

- ・「ふるさと印西学」の巻頭言を軸
- ・「ずっとこのまち印西で」
- ・「市民のステータス」となる資料館

(8) 今後の資料の取り扱い

- ・市民に公開、発信していくための資料保管を行う。
- ・民俗資料 現在の方法は完了し、写真収集を中心に行う。
- ・考古資料、歴史資料については、資料の性質を見極める。
- ・印旛歴史民俗資料館資料収集方針を策定する。

ふるさと印西学を学ぶみなさんへ

みなさんは、^{いんざいし}印西市のことを、どのくらい^し知っていますか。^{しがい}市外の人に、
どのくらい^{いんざいし}印西市のことを^{せつめい}説明することができますか。みなさんに、ふるさと
^{いんざい}印西のことをくわしく^し知ってもらうために、「ふるさと^{いんざいがく}印西学」をつくりました。

^{とねがわ}利根川、^{てがぬま}手賀沼、^{いんばぬま}印旛沼と^{さんぼう}三方を^{みず}水に^{かこ}囲まれた^{いんざいし}印西市には、
^{ゆた}豊かな^{しぜん}自然だけでなく^{れきしてき}歴史的な^{いせき}遺跡や^{でんとうぶんか}伝統文化、そして^たたくさんの
^{でんしょう}伝承などがあります。これらのものは、^{むかし}昔からの^{たからもの}宝物と^い言ってもいい
でしょう。また、^{むかし}昔から^{げんざい}現在まで、^{いんざいし}印西市の^{さんぎょう}産業や^{けいざい}経済が^{はってん}発展して
^{うら}きた^{うら}裏には、^{にな}それを^{せんじん}担ってきた^{かたがた}先人の方々がいらっしやいます。

このような^{いんざいし}印西市の^{しぜん}自然、^{れきし}歴史、^{ぶんか}文化、^{ひと}ゆかりの^{など}人たち等につ
^{しら}いて^{たし}調べたり、^{むかし}確かめたりすることで、^{ひとびと}昔からの^{せいかつ}人々の^{ようす}生活の様子
や^{もの}物の^{みかた}見方、^{かなが}考え方などを^{かた}学んで^{まな}ください。そして、^{じぶん}自分たちが^{まな}学び、
^{せいかつ}生活している^{いんざいし}印西市に^{あいじょう}愛情をもち、^{ほこ}誇りを^も持って^い生きていけるように
な^{ねが}ってほしいと願っています。

^{いんざいし} ^{きょういくいんかい} ^{きょういくちょう}
印西市教育委員会教育長